

自分の考えを文章で表現する力を育てる
振り返りの場面や書き出しの工夫の活用

1

本実践に関連する児童生徒の実態

対象 小学生

○課題

- ・「知らん」「やらん」と自分の考えを書かない。
- ・どのように書いてよいか書き方がわからない。
- ・単語や短文で終わることが多い。

○強み

- ・会話では、自分の考えを言うことができる。
- ・やり方が分かると課題を解決できる。
- ・ゴールが明確だと意欲をもって取り組める。

2

指導目標・指導仮説

教科等及び単元（題材）名
算数科「分数」、道徳科、 自立活動「レストラン計画」

目標（本実践終了時の期待する子供の姿）
自分の振り返りや考えを文章で表現することができる。

指導仮説

各教科や道徳科、自立活動で振り返りを書く活動を増やし、書き出しの助言を与えることで、自分の思いや考えを文章で書くことができるだろう。

児童生徒の実態

3

指導仮説の具体的な内容と評価内容・方法

◆指導仮説の具体的な内容

各教科、道徳科、自立活動において振り返りを書く場面を設定して、自分の考えを表現することに慣れさせる。そして、書き出しの助言を与えることで、文章で書くことができるようにする。

◆評価方法（どのような方法で何を評価するか）

ノートへの振り返りの記述内容
道徳科におけるワークシートの記述内容

4

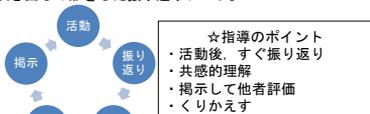
指導の実際①

自立活動で振り返ろう

①毎時間の振り返り

- ・やったこと、したことだけでもよい。
- ・短くても良いから何か感想を書く。
- ・書く意欲をもちやすい吹き出しの形をした振り返りシート。
- ・書けるまで待つ。

自立活動「レストラン計画」
畑を耕し、作った物で料理を作りお店を開く。



<児童の振り返りの変化>

大変だったところも
難しかったところも
ありませんでした。
がんばった。

土をたがやしました。あつかった
です。がんばりました。
楽しかったです。土をたがやす
のをがんばりました。

5

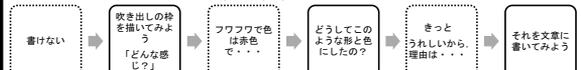
指導の実際②

道徳科で振り返ろう

①道徳ノートの記述

- ・板書の語句を参考にしながら振り返りの文章を書く。
- ・なかなか言葉にすることが難しい時には、登場人物の心情を書く吹き出しを児童が作成し、視覚化した後で文章化する。何か書くまでじっくり待つ。

(例) ギザギザの吹き出し→怒りや悲しみなど
フワフワの吹き出し→楽しい、うれしいなど



②思いやりプログラム構想図への記述

- ・全校で毎学期一回の取組。
- ・カリキュラムマネジメントの視点で道徳科だけでなく全ての場面を関連づけ成長を見とっていく。
- ・短文でも良いと思える吹き出しの大きさを、振り返りを書く。
- ・取組が終わった時点で、保護者からコメントを書いてもらう。

6

指導の実際③

書き出しを決めて振り返ろう

① 今日大切だと思ったことは・・・

・自立活動や道徳科での取組により、自分の思いを単語で言うことや短文で書くことはできつつあった。



・書き出しを「今日大切だと思ったことは」と設定して、そこに続くような形で文章を書く。

(算数科「分数」の学習において)

今日大切だと思ったことは、1をいくつに分けるかを考えることです。

今日大切だと思ったことは、数を正しく数えることだと思いました。

7

指導の実際④

② 全校道徳での振り返り（校長先生による全校道徳）

全校道徳授業
しんせつなもたち

今日、大切だと思ったのは、親切はみんなのことを考えたから、返ってきたんだな〜と思いました。親切はえいえんに続けたいと思いました。

わけは、みんなが親切にしてくれているからだと思いません。

だと思いません。一番親切なのは、うさぎ

お話について自分の考えを書いている。

今日大切だと思ったことは・・・に続く文章から理由まで書けている。

8

実践前後での児童生徒の変容

実践前	実践後
・「やらん」「わからん」と言っ て書こうとしなかった。	・書き始めるまでが早くなり、否 定的な言葉が表れなくなってきた。
・書くことへの意欲がとても低 かった。	・何か書こうとしようとする意欲 が出てきた。
・事実のみを書いて、自分の考え や思いを書くことはなかった。	・自分の考えが文章の中に出てく るようになった。
・単語や短文で終わることが多 かった。	・文章が少しずつ長くなってきた。
・道徳科の振り返りを書くことが 難しかった。	・道徳科アンケート「自分のこと を振り返りながら考えている」の 項目に対して「そう思う」と肯定 的に回答した。

9

評価

●児童生徒は目標を達成したか。

・概ね達成している。

●判断の理由・根拠

・文章で自分の考えを書くことへの抵抗感も少なくなり、振り返りの内容に自分の考えを書けるようになってきた。また、全校道徳での振り返りについては長い文章で表現していた。

10

指導仮説の検証

●指導の成果

・体験活動や道徳科という振り返りを書きやすい場面で常に書く活動を設けることで、書くことに慣れることができる。さらに、書き出しが設定されることで、このように書けば大丈夫という自信を持たせることができた。

●課題

・振り返りの場面に特化しているため、短文になりがちであった。
・書き出しが同じなので、似たような記述になりがちであった。

11

指導の改善案

●成果・課題を踏まえた改善案

・学習の振り返りを書く文章を2文、3文と少しずつ長くすることや書く視点を複数提示して、その視点に沿って書けるような取組をしていく。

12